

# 昭和49年度日本気象学会秋季大会告示

(福岡管区気象研究会と合同)

1. 期日：昭和49年11月6日(水)、7日(木)、8日(金)  
2. 会場：電気ビル(福岡市中央区渡辺通り2丁目1の82)  
3. 研究発表  
1) 講演申込メ切：8月15日(木)一必着一  
2) 申込先：東京都千代田区大手町1-3-4  
気象庁電子計算室内 講演企画委員会  
3) 様式：本号挿入の申込み用紙に記入(アブストラクト不要)  
4) 講演時間：討論を含め15分以内一厳守一  
5) 予稿原稿のメ切：9月19日(木)一必着一  
講演申込者に8月中旬に用紙発送  
6) シンポジウム  
東シナ海低気圧に関するシンポジウム  
(大会会場および福岡市内宿泊施設案内は4月号を参照して下さい)

## 「冬の低気圧」に関するシンポジウム開催予告と研究発表募集のお知らせ

北海道支部では札幌管区気象台と共催で下記の要領により、上記シンポジウムを開催することになりました。ふるって御参加、御応募下さるようご案内致します。

### 記

#### 1. 共同主催

日本気象学会北海道支部・札幌管区気象台

#### 2. 期日

昭和49年11月27日(水)9時30分~17時

#### 3. 場所

札幌市北2条西18丁目 札幌管区気象台

#### 4. 内容

午前の部 講演会 座長 北海道支部長

講師 気象研究所 斎藤 直輔氏 題 未定\*

講師 気象庁予報部 宮沢 清治氏 題 未定\*

午後の部 オリジナルな研究発表 座長未定\*

発表者数は5~6人を予定

#### 5. 午後の部の研究発表募集

(1) 応募の内容 「冬の低気圧」に関するオリジナル

な研究で、理論でも解析でもよく、また結果としての災害なども広く含みます。現象のスケールは大小を問わず、大低気圧による暴風雪やメソの小低気圧などいずれを取扱っても結構です。

(2) 発表時間 30分以内

(3) 申込メ切 49年8月31日必着

(4) 申込先 060 札幌市中央区北2条西18丁目札幌管区気象台調査課内 気象学会北海道支部事務局  
(TEL 011-611-6121 内 412)

(5) 要旨の提出 申込者は、題名・氏名・所属と400字以内の要旨を1部申込と同時に、上記申込先へ必ず提出すること。

(6) 了解事項 発表申込数により、発表時間の短縮、場合によっては、書面参加に変更をお願いすることがあります。

付記 聴講無料、来聴歓迎

注\* 決定したい「天気」でお知らせします。

(日本気象学会北海道支部)

## Selected Papers の値上げについて

Selected Papers は発刊当時は500部につき印刷費32万円、発送等雑費6万円で若干の余裕をもって刊行を行うことができました。然し印刷費は13号より34万円、18号より40万円、20号44万円、21号より48万円と急速に値上がりを受け、また業者に対する支払いも、印刷完了前後に直ちに行わなければならない状態になりました。このような理由から、従来の頒価1000円を26号より毎号1200円とせざるを得なくなりましたので、会員

各位においてはよろしく御承願います。併せて、滞納者は至急御払込み下さるようお願いいたします。

なお、印刷の都合で発行順が若干くずれていますが、なるべく早く順番を正すべく努力しておりますので御諒承下さい。また、先に印刷不鮮明なページを含んでいた論文についても、修正版を業者に督促していますので、もうしばらくお待ち下さい。御迷惑をおかけして申し訳ありません。  
(外国文献委員会)